

発注企業動向調査結果

-2026.3-

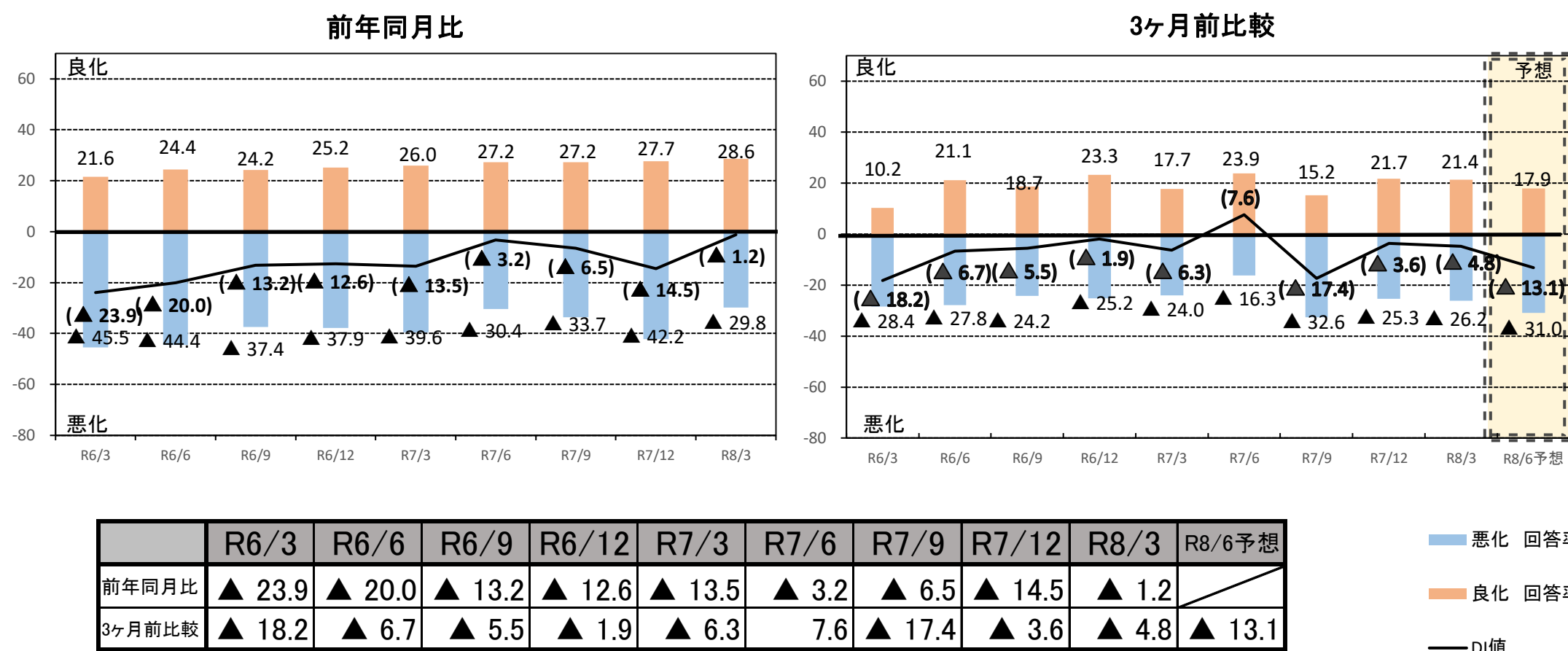
- 調査時点 令和8年3月調査(令和8年3月末時点)
- 対象企業 150社
- 調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)
- 回答企業 84社 (回答率: 56.00%)

<業種内訳>

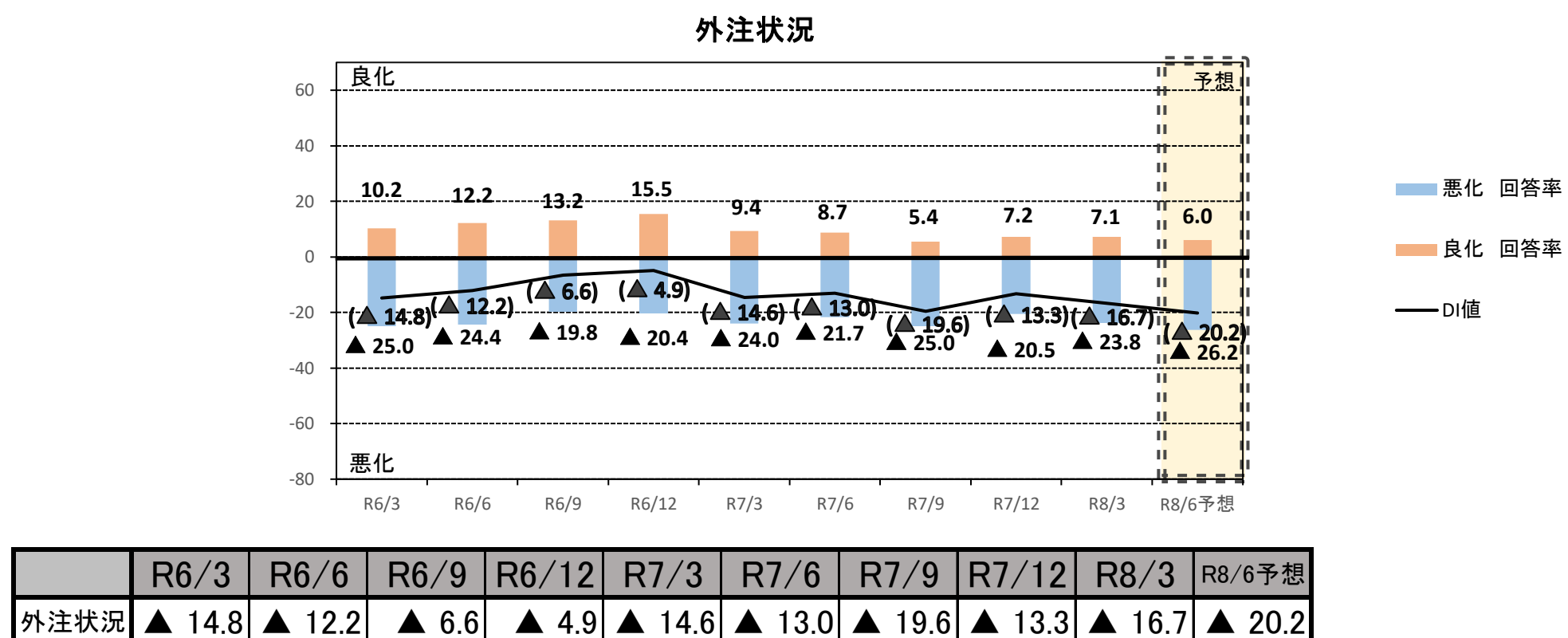
プラスチック	8社
鉄鋼・非鉄	11社
金属製品	8社
一般機械器具	12社
電気機器	22社
輸送用機器	16社
精密機器	3社
縫製	4社
計	84社

DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。

●生産高



●外注状況



●概要(総合)

- ・生産高(前年同月比)のDIは▲1.2で、前回の▲14.5から13.3ポイント増となった。
- ・生産高(3ヶ月前比較)のDIは▲4.8で、前回の▲3.6から1.2ポイント減となった。
- ・外注状況(3ヶ月前比較)は▲16.7で、前回の▲13.3から3.4ポイント減となった。
- ・3ヶ月後の予想DIは生産高が▲13.1、外注状況が▲20.2という予想になった。

・その他自由意見として、

【繊維工業】

- ・国内外の情勢により、業界的に非常に不透明である。
- ・原材料費、ガソリン代、運賃などが上がりすぎている。

【鉄鋼・非鉄金属製造業】

- ・原油高、アルミニウム高の影響が大きくなっている。

【電気機械器具】

- ・受注も増加傾向だが、関税・戦争の影響が出てきていると思う。燃料費・金・部材の高騰で苦慮している。
- ・受注が増えるという顧客からの話がある。一方、中東情勢により必要な溶剤等の入手が懸念される。
- ・2026年第1四半期以降は全体的に受注減。2026年度全体で受注案件減予定。中東問題で材料メーカーの価格高騰及び材料入手困難で2026年7月以降納期対応が厳しい状況。

【輸送用機械器具】

- ・中東情勢の緊迫化で先行き不透明。
- ・ホルムズ海峡封鎖で生産減少になる可能性が高い。
- ・溶剤関係の入手難、部品入手難による生産影響が懸念される。

という意見が寄せられた。